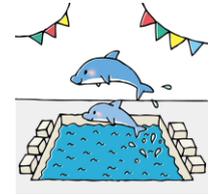




今宿小学校

学校だより



令和5年度7月号 令和5年6月30日発行

校長 奥谷 みさ

朝遊び、プール指導開始、変化を感じながらゆっくりとすすんでいます。



5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが変更され、はや2か月が経とうとしています。様々な変化を感じながら、子どもたちは学校生活を送っています。暑くなり、熱中症が心配されるようになってきましたが、6月に入り、体調を崩す子どもたちが多くなってきたことも心配です。嘔吐、熱、咳、喉痛、今までかかっていなかった様々なものと子どもたちの体は戦っています。学校では、クラスでの症状拡大の様子を見ながら、早い回復を願い、お迎えをお願いすることも多くなってきました。夏休みまでの約1か月、暑さも加わり体調的に厳しい時期となってきます。体調には十分注意しながら、学校生活を送れるよう、見守っていきますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

一方で、子どもたちの元気な姿も見られます。一つは、朝遊びが解禁され、朝の校庭に子どもたちの姿がもどってきたことです。1階に教室がある4年生がまず1番に外に出てドッジボールを始め、後を追って3年生が出てきます。1年生は、アサガオの水やり、2年生はミニトマトの水やりと、自分たちが育てているもののお世話を励んでいます。放送委員が8時20分に流す放送を聞き、遊びの途中でも「教室に戻るよ。」と声を掛け合いながら昇降口を目指して走ってきます。20分休み、昼休みと同様に子どもたちが時間を守って行動する姿が、ここでも見られ、本当に素晴らしいなあ、と毎朝感心しています。

もう一つは、26日から水泳指導が始まったことです。ずっとできなかったプールの授業に、子どもたちはワクワクしています。学校のプールに初めて入る学年が1年生から4年生までいるのです。「さあ、ゆっくりプールに入ってみよう。」という教師の声かけに、足からゆっくり入っていき、「足がつかない。」と、少し怖がっている2年生。「縮こまっている足を少し伸ばしてごらん。」と言うと、「あ、ついた。」と安心した顔になり、そこからはプールでの活動を楽しんでいました。使ってこなかった分、プールの色んなところにメンテナンスも必要で、ハプニングも続いています。楽しい水泳指導にするためにも、安全第一で取り組んでいきます。

茅ヶ崎市ホストタウン事業 日本・北マケドニア友好プロジェクト2023



佐手麻珠さん エマ・ポピヴォダさんをお迎えし

6年生がピアノデュオの演奏を楽しみました。

茅ヶ崎市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に北マケドニア共和国とのホストタウン交流を行っています。ホストタウン交流として、子どもたちは、北マケドニア料理を給食で味わってきています。今年度は、北マケドニア出身のピアニストと北マケドニアでの演奏経験もある日本のピアニストによるピアノデュオ(連弾)での演奏を茅ヶ崎の子どもたちに、という企画に応募し、今宿小学校に来ていただきました。マケドニアの小学生からのビデオメッセージやクイズ、質問コーナーも交えながらの素敵な演奏に、子どもたちも真剣に聴き入っていました。公演後、お二人は「子どもたちが一生懸命聴いてくれた。反応もとてもよく充実した時間となりました。」とおっしゃっていました。いろんな出会いを経験し、子どもたちの世界もどんどん広がっていくことを願っています。

